

決算等審査 特別委員会

委員長 赤間 次彦
副委員長 山口 津世子

本委員会は、議会議長の監査委員を除く全議員五十八名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・款ごとに質疑を行います。審査は九月十六日から十一日間開催され、延べ七十五人の委員が三十六時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

みらい仙台

問 鈴木 勇治 委員
児童虐待防止に向け児童相談所と区の連携や事業の充実、体制の強化を図るべき。

答 児童相談所と区が連携して支援体制を作り、人員を確保して虐待防止に取り組み。育児支援家庭訪問事業、小児慢性特定疾患通院介護料の広報、下水道事業の健全経営策、庄司 俊充 委員
泉警察署前の交差点の渋滞を解消すべき。

問 泉中央駅方面から県道成十七年度内に設置したい。

問 いずみ墓園への市営バス乗り入れをすべき。

答 来年度に向けて、お盆お彼岸の運行を検討している。公共交通の公営の維持。

問 渡辺 芳雄 委員
仙台ハーフマラソン大会をフルマラソン大会へ昇格させてはどうか。

答 現状では市内でのコース設定、交通規制など様々な問題があり難しいが、長期的な展望としてフルマラソンも視野に入れて進めていきたい。地域づくり活動の推進のため、「区民会議」の設置を。

問 関根 千賀子 委員
増加し続ける生活保護費の適正受給について、これからのあり方を伺う。

答 就労可能な世帯につき、自立を積極的に支援する。また、一定の期間を設けて再審査する制度の導入を政令指定都市として国に提言している。市街地の緑の回廊づくり、青葉山公園整備推進。

問 郷湖 健一 委員
松森工場の完成と稼働へ向けた所見を伺う。

答 こみ処理体制確保やイオキシンの大幅削減により環境を維持するため不可欠の事業であり、併設の市民利用施設とともに環境に配慮した施設として管理運営する。松森工場周辺道路の整備、灰溶融設備の安全対策。

問 齋藤 範夫 委員
旭川の旭山動物園の成功を踏まえ、八木山動物公園の活性化策を検討すべきではないか。

答 施設配置とあわせて、展示方法も見直し、市民に親しまれる動物公園にしていく。外郭団体を含めた連結パランスシートの作成による財政分析を。

問 佐藤 正昭 委員
東西線開通に合わせ市民に夢と感動を与える新設



八木山動物公園(太白区)

問 熊谷 善夫 委員
子どもたちへの団体行動教育と福祉教育の充実を求めるが、現状について伺う。

答 機会をとらえて集団行動のルール等を身につけるよう指導し、高齢者、障害者との交流活動等に努めている。スクールネットサンス事業の現状と今後の方針は、学校警備員の全校常駐を。

問 柳橋 邦彦 委員
仙台を本拠地とするフットボールの実現についてどう考えるか。

答 東北全体が待望する新球団が来春、仙台に実現するよう最大限努力する。準備のため市内にプロジェクトチームを作り、交通処理や経済効果等を検討する。

問 職員モチベーション向上

公明党

問 会計・款別の主な質疑項目
公営企業会計

問 バス事業の「経営改善計画」は、進捗率の高さに応じて計画を見直すべき。

答 必要に応じて計画の見直しについて検討する。

問 患者本位の医療を進めるため、主治医以外の専門医に助言を求める「セカンドオピニオン」を取り入れる。

答 他都市の先行例も参考にしながら今後検討していく。JR仙台駅西口中央地下歩道の内照広告の営業努力市民費。

問 市民会館等に指定管理者制度を導入することによる経費節減効果を問う。

答 予測は困難だが、なお経費の節減に努めたい。健康福祉費。

問 青年指導センターの



ワケルモバイル(ごみ減量や環境に配慮した行事に貸し出す食器洗浄車)

日本共産党

問 ふるくぼ 和子 委員
ごみ減量等の費用を減らさず、国や企業の責任を求め、市民協働の取り組みを。

答 循環型社会構築のため国に諸制度の変革等を求めていくとともに、今後は紙・生ごみのリサイクルを重点に、事業者や市民への広報・啓発活動等に効果的に取り組む。ダイオキシンの類焼監視装置の国内設置例に学び、新松森工場への設置を。

問 嵯峨 サダ子 委員
自閉症等の相談件数の増加に対応するため、発達相談支援センターの人員を増やし、市南部へも早急に増設を。

答 本年度、七名の増員を



発達相談支援センター「アーチル」(泉区)

問 長町副都心土地区画整理事業について

問 正木 満之 委員
整理事業の財政負担に開く市との協議では、市の負担を増加させない方針を貫くべき。

答 本事業は、事業主体の県の責任で行うのが原則。本市は、パートナーとして協力

問 木村 勝好 委員
駅前広場の整備基準の明確化、バス結接の効率化交流拠点機能の付加等に配慮して整備すべきでは。

答 多面的な機能を持つ施設であることを踏まえ、地域の個性を発揮できる特色のある駅前広場の整備を進める。東北からの観光客に対する仙台の魅力向上に重点を、新球団への対応について国益を踏まえた新たな国際交流方針の必要性について

問 日下 富士夫 委員
避難所開設訓練等、実践的な地域防災訓練実施を学校体育館、防災資機材倉庫の鍵管理の見直しを

フォーラム仙台



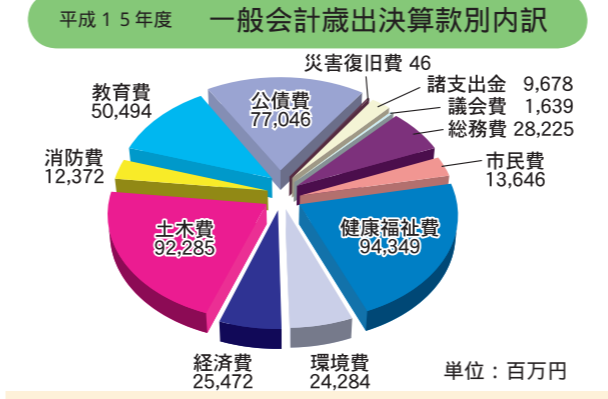
より実践的な地域防災訓練の実施を

問 佐藤 わか子 委員
サル被害に対し捕獲も含めた抜本的対策が必要では。県の新たな計画に基づき、効果的な対策に努める。海外からの観光客を増やす

平成15年度 一般会計決算 収支の状況

予算現額	457,370,143
A 歳入決算額	435,378,334
B 歳出決算額	429,536,436
C=A-B	5,841,898
D 歳入歳出差引額	4,357,994
E=C-D	1,483,904
翌年度へ繰り越すべき財源	
実質収支額	

単位：千円



自由民主党

問 田村 稔 委員
金剛山歌劇団仙台公演に対する本市の意義後援は、より慎重に進めるべきではないか。

答 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担っていききたい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 野田 謙 委員
文化振興策への取り組み

問 岡田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 大内 久雄 委員
狐小路尼寺線の整備について、仙台一高用地に関する

問 自閉症児への対応について

問 野田 幸代 委員
エル・ソーラの保育士向け講座は、趣旨に「性別にとらわれず」とあるが、どのような内容なのか。自分の性に誇りを持つ保育を願う。

問 エル・ソーラ仙台
図書資料ラウンジ(青葉区)

問 大泉 鉄之助 委員
二市二町の合併なくして発展はあり得なかった。指定都市として、権限等の移譲を部分的であるが進め、地方分権を先取りして、視点を世界に向けて進むことができていくことに自信をもっている。

問 住民の生の声は政策の遂行や組織の見直しのため不可欠であり、実施時期や手法等を検討していききたい。

社民党



渋滞解消の効果が期待されるJR仙台駅東口バスプール

問 障害者のグループホーム、小規模作業所への運営補助の見直し改善を。

答 グループホームは重度障害者に対応できるよう見直しを考える。小規模作業所は増設が課題で、現時点では補助の引き上げは困難。

問 公園の除草、樹木の剪定を定期的に行うべき。

答 除草、生垣の剪定は年一回、五月、十月の時期に、樹木の剪定は生育状況や周辺への影響を考慮しながら四、五年に一回行っている。

問 高速バスの路上待機による交通渋滞の解消策を。

答 バスの待機スペース確保のため交通局の新寺駐車場の貸し出しを増やすほか、バス事業者とも協力していく。

問 小規模作業所への運営補助の見直し改善を。

答 グループホームは重度障害者に対応できるよう見直しを考える。小規模作業所は増設が課題で、現時点では補助の引き上げは困難。

問 公園の除草、樹木の剪定を定期的に行うべき。

答 除草、生垣の剪定は年一回、五月、十月の時期に、樹木の剪定は生育状況や周辺への影響を考慮しながら四、五年に一回行っている。

問 高速バスの路上待機による交通渋滞の解消策を。

答 バスの待機スペース確保のため交通局の新寺駐車場の貸し出しを増やすほか、バス事業者とも協力していく。

問 その他取り上げた項目
シティセールスの効果があるが広報を

問 市政だよりの全市版と区版の統合は市民の声を十分に把握して行うべき

問 廃止された焼却場(西田中工場・旧松森工場)の適正管理と解体の計画進捗をアクセス十分構想推進事業

問 十七年度の市税収入見込み、補助金等に関する国の動向、地元企業育成の対応

問 現在の人事評価制度の課題と新制度の検討状況、導入時期及び運用方法について

問 仙台駅東の街づくりへの市の基本的な考え方について

平成15年度 特別会計歳出決算 単位：千円

都市改造事業	11,298,558	65,231,065
国民健康保険事業	3,565,816	12,189,140
中央卸売市場事業	530,459	65,523,257
公共用地先行取得事業	647,020	101,590,098
駐車場事業	125,797	732,894
老人保健医療事業	732,894	
農業集落排水事業	32,796,759	
公債管理	294,230,863	1,036,039
母子寡婦福祉金貸付事業		
新墓園事業		
介護保険事業		

平成15年度 特別会計決算の収支状況 単位：千円

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	11,876,708	11,298,558	578,150
国民健康保険事業	65,231,065	65,231,065	54,677
中央卸売市場事業	3,566,988	3,565,816	1,172
公共用地先行取得事業	12,189,140	12,189,140	0
駐車場事業	530,459	530,459	0
老人保健医療事業	65,625,241	65,523,257	101,984
農業集落排水事業	687,825	647,020	40,805
公債管理	101,590,098	101,590,098	0
母子寡婦福祉金貸付事業	221,048	125,797	95,251
新墓園事業	732,894	732,894	0
介護保険事業	32,960,759	32,796,759	164,000
特別会計合計	295,266,902	294,230,863	1,036,039

